

9860

自昭和十三年八月二十一日
至昭和十三年九月六日

廬州ヨリ固始ニ至ル間ノ戦闘詳報

歩兵第三十九聯隊第二大隊

1

45. 6. 16

1746

9860

内
容

第一部

自八月二十日廬州より南大橋に至る間、戦闘詳報

2

第二部

自九月五日固始附近、戦闘詳報

1747

0560

四名時期ニ於ケル戦闘経過ニ就テ

八月二十一日

八十三時左記太作命第一八號、要旨ヲ口達セラル

太作命第一八號

先遣隊命令

八月二十一日十六時
於 廣 州

一六安方面、敵情別紙、如シ

師團ハ一部ヲ以テ金橋附近ヲ占領シ六安附近、敵情
地形ヲ搜索シ主力ハ現在地附近ニ於テ亦後、前進ヲ

第八中队	甲	一三五	
機関銃中队	六	一〇八	二八
歩兵砲小队	一	五三	一二
大行李		四一	三六
小行李		三三	三四
合計	二七	八三六	一一三

準備ス

師團ト第十三師團ト、作戰地境ハ下派河上派河・新
集・椿樹崗・蓮花巷ヲ連ヌル線トシ線ハ第十三師團

ニ屬ス

ニ聯隊（五欠）師團無線一介隊ハ下、一部ヲ屬スハ

先遣隊トナリ明二十二日廬州出發廬州—六安道上金
橋附近ヲ占領シ六安附近ノ敵情ヲ搜索スルト共ニ師
團主力、淝河左岸地區ニ進出、目的ヲ以テ金橋附近
ヨリ淝河ニ向テスル道路、偵察ヲナサントス

三第一大隊ハ爾今予、隸下ニ復歸トス現在地附近ニ在
リテ待機シ聯隊主力ノ前進ニ伴ヒ前衛トナリ廬州—六
安道ヲ四十里西南約六里、地區ニ向ヒ前進スヘシ
水隊ト、距離約七百メートル

四水隊ハ明二十二日八時西門ヲ先頭トシ本道路上ニ途上縱

自八月二十一日至九月四日

廬州ヨリ南大橋ニ至ル間、戦闘詳報

歩兵第三十九聯隊第二大隊

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢、概要

ハ敵情ニ関シテハ上司ヨリ配布、情報要圖ニヨルモノ、外特記事項ナシ

二 大隊ハ廬州以北ノ道路構築作業ニ出勤中ナリシカ其ノ任務ヲ終了セシヲ以テ十八日夕刻廬州ニ歸還シ主力ト共ニ集結ヲ完了ス

三 當時各部隊ハ瓦斯ニ對スル應急救育ヲ實施シ特業兵ハ勿論一般兵ニ於テモ此ノ戦法ヲ用フルニ於テハ大敵ヲ殲滅シ得ルノ自信ヲ有シ必勝ノ信念一兵ニ至ル迄昂揚シテ

ニ戦闘ニ影響ヲ及シタル天候氣象及戦闘地ノ状態ハ當時、天候氣象ハ既ニ最炎暑期ヲ過タリト雖其ノ暑期

日中ハ盛夏ト変リテ一時返納セシ防務帽モ雨ヒ支給ラ受
クルニ至ル状態ニ在リ
ニ我カ部隊ハ休養ノ期間ナカリシタメ體力、恢復不充分ニシテ
傳染諸病漸ク蔓延セントシ風土病タル『マラリヤ』亦悔リ
難キモノアリ

3 水田、稻ハ几月上旬ニ於テハ既ニ大部分收穫セラレアリ

村落、周圍ニハ池沼アルヲ一般トス

三 出發時ニ於ル大隊内ノ兵力左表、如シ

八月三十一日現在第三大隊兵力編組表

隊別	區分	將校	軍官	下士官	兵	馬	匹	摘	要
大隊本部		五		二	三			(一) 二十三日以降岡田垂尉以下	
第五中隊		四		一	四			四十几名ノ瓦斯小队ヲ編	
第六中隊		三		一	六			成ス	
第七中隊		四		一	四				

6860

自昭和十三年八月三十一日
至同年九月四日

廬州ヨリ南大橋ニ至ル間ノ戦闘詳報

歩兵第三十九聯隊第二大隊

5

1752

隊ニ集合スヘシ

前衛、位置ニ至ル迄第三大隊ヨリ尖兵トシテ一小隊ヲ差
出スヘシ

五第三大隊ハ道路修築隊長須磨大佐ノ部下ニ入ルヘシ

六第五大隊口糧ハ各人甲二日乙二日分ヲ大行李ハ二日分、糧秣
ヲ輜重小隊ハ四日分ヲ積載携行スヘシ

七各部隊ハ兵器其他諸物品ノ修理受領等、タメノ所要、
人員並ニ輕患者ハ所要ノ幹部ヲ附シテ残置シ後師

團主力ノ前進ト共ニ追及セシムルモノトス

尚第三大隊ヨリ追送品掩護ノタメ一小隊ヲ残置スヘシ

田中少尉ハ之ヲ取締ニ任スヘシ

八月二十二日八時西門ニ在リ

先遣隊長

太

田

大

佐

下達法 要旨ヲ口達シタル後印刷交付

三

二十八時三十分左記高作命令第八ニ號ヲ下達ス(要旨ハ十四時口達)
高作命令第八ニ號

高井部隊命令

八月二十一日十八時三十分
於廬州

六安方面、敵情別紙、如シ

聯隊ハ師團、先遣隊トナリ明二十二日廬州—六安道上
金橋附近ヲ占領シ六安附近、敵情ヲ搜索スルト共ニ
師團主力、淝河左岸地區ニ進出、目的ヲ以テ金橋附
近ヨリ淝河ニ向ツテスル諸道路、偵察ヲナス

第一大隊ハ敢隊主力、同地進出ニ伴ヒ前衛トナリ前進ス
ニ大隊主力ハ本隊トナリ第四中隊ニ次テ前進セントス
三各隊ハ左記行軍序列ニ從ヒ西門東方約二百米ヲ先頭ト
シテ西面、途上縱隊ニ集合スヘシ

左記

8 (1/3)

7

6 (1/3)

MG

BIA

古

吉

5(1/3)

四第八中队ノ一小队ハ第一大队ノ位置ニ到着迄兵トリ聯
隊主力ノ前方約四百米ヲ前進スヘシ

五第六中队ノ一小队ハ聯隊本部ハ行李ニ次テ前進スヘシ

六第五中队ハ一小队ヲ聯隊追送品防護ノタメ残置スヘシ

行動ニ関シテハ聯隊本部田中少尉ノ指示ヲ受クヘシ

七第五口糧ハ甲二日分乙二日分シ尙大行李ハ二日分

糧秣ヲ積載スヘシ

八予ハ明八時西門ニ至ル

大隊長 高 井 少 佐

下達法 要旨ヲ口達シタル後命令受領者ニ口達筆記セシム

注意

ハ残置荷物ハ各隊毎ニ戰闘ニ堪エスト豫想セラル、最小限

ノ兵員ヲ附シ師團司令部東方ニ百米ノ倉庫ニ預ルシ大

原輜重兵大隊ノ區署ヲ受クルコト

(四)八月二十二日

(2)右荷物ハ本日中ニ預屯スヘシ

ハ各隊ハ八時所命、如ク集合ヲ終リ夫々所定ノ序列ニ從ヒ
前進ス主力ハ九時頃行進ヲ起ス

之十三時三十分左記太作命號外ヲ受領ス

太作命號外

先遣隊命令

八月三十一日十三時三十分
於三ノ十ノ崗

一許可湾及西橋附近、橋梁ハ破壊セラレタリテ前衛ハ目

下一部ヲ以テ修理中ナリ

ニ先遣隊ハ車輛部隊ヲ除クハ依然前進ヲ續行シ王坊

崗附近ニ向ヒ前進セントス

三前衛(車輛部隊及作業隊ヲ尺ク)ハ五十八番ニ向ヒ前進

スヘシ

四六田大尉ハ前車輛部隊(援護隊ヲ含ム)ヲ指揮シ橋

梁完成後先遣隊主力ニ追及スヘシ

五第ニ大隊ヲ車輛部隊掩護ノタメ歩兵ニ中隊(各一小隊尺)

差出シ穴田大尉ノ指揮ニ入ラシムヘシ

六予ハ王場崗ニ向ヒ前進ス

先遣隊長

太

田

大

佐

12

下達該命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

3 前記命令ニヨリ其ノ第五項ノ部隊ハ第五、第六兩中隊ヲ

以テ之レニ充ツ

4 大隊ハ十八時頃王場崗ニ到着シ同地附近ニ宿營ス

5 十八時過ぎ記宿營命令ヲ受領ス

宿營命令

八月二十日十八時
於王場崗

一 先遣隊ハ王場崗附近ニ宿營セントス

二 前衛ハ五十小隊ニ宿營シ六方方向ニ對シ警戒スヘシ

三 本隊タル諸隊ハ設營者ノ誘導ヨリ別紙要圖ノ如ク宿

五

1757

警スヘシ

警戒ハ各宿営部隊毎ニ其ノ先任者ニ於テ區處スヘシ

王拐崗、警戒ハ第一大隊長之ヲ擔任スヘシ

警戒ニ関シテハ第四中隊ヲ併ヒ指揮スルコトヲ得

五本夜、給養ハ携帶口糧甲ニヨルヘシ

六予ハ王拐崗ニ在リ

先遣隊長

太田

大佐

下達該命令受領者ヲ集メテ達事記セシム

注意

(1) 宿营地ニ匪賊潜伏シタルニ付、警戒上遺憾ナキヲ期スヘシ

(2) 集合時及行軍間道路、一側開放ニ注意スヘシ

(3) 苦力、圓匙其他兵器ヲ携行セシメサルコト

6 十時頃左記太作命第一號ヲ受領ス

太作命第一號

光遣隊命令

八月二十三日十八時
於王拐崗一 光遣隊ハ明二十三日七時本隊、光頭ヲ以テ王拐崗ヲ出發
金橋附近ニ向ヒ前進セントス二 前衛(車輛部隊又ハ)明二十三日其宿营地ニ於テ出發準
備ヲ整ヘ待機シ本隊、到着ニ伴ヒ行動ヲ開始シ金橋
西方四軒史祠、王老庄、嶺ニ向ヒ前進スヘシ三 本隊(車輛部隊及同掩護部隊又ハ)明二十三日七時王拐
崗西端ヲ光頭トシ途上縱隊ニ集合スヘシ四 車輛部隊並ニ同掩護部隊ハ同二十三日宿营地出發
本隊ニ追及スヘシ

五 予ハ明二十三日七時集合場ニ在リ

光遣隊長

太田大佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

夕二十時十五分左記高作命令第八三號ヲ下達ス

高作命第八三號

高井部隊命令

八月二十三日午後五時
於王傍崗東南側無名部隊

一敵情ニ関シテハ新報ヲ得ス

光遣隊ハ明二十三日早朝宿營地出発金橋及其西方地區ニ
前進セントス二大隊一第五中隊(一小隊欠)第六中隊(一小隊欠)及車輛部隊欠
ハ光遣隊本隊トリ金橋ニ向ヒ前進セントス三各隊ハ左記行軍序列ニ従ヒ明二十三日七時迄ニ王傍崗中
央十字路ヲ先頭トシ西面ノ途上縱隊ニ集合スヘシ

左記

日 8 7 149 土

四辻田少尉及大森少尉ハ將校中候長要員トス

聯隊本部ニ於テ指示ヲ受テ行動スヘシ

五予ハ七時集合場ニ至ル

大隊長

高

井

少

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

(ハ)八月二十三日

八聯隊長、指示ヲ受ケタル大森及辻田、西少尉ハ六時將

校作候トシテ出發セリ

之道路、破壞甚シキタメ左ノ如ク作業隊ヲ編成シ聯隊ノ
使用ニ供ス

作業隊長

岡

田

雅

尉

ヲ 8 附ヨリ各々下士官以下 十五名

三十八時頃清風谷(金橋東方七軒)附近ニ達シ同地ニ宿營ス

以此、日炎熱甚シク爲ニ途中喝病ニテ落伍スル者多シ

五十八時三十分左記本件命令第三號ヲ受領ス

本件命令第三號

先遣隊命令

八月二十三日十八時三十分
於中 岡田 雅 尉

一第四中隊ハ本月二十三日十三時頃官亭鎮附近ニ於テ敵匪
約八百ヲ撃退セリ

ニ光遣隊ハ明早朝金橋ニ向ヒ前進シ該地附近ヲ占領シ
テ敵情地形ヲ偵察セントス

三計衛ハ明二十四日八時宿營地出發金橋西方約三軒ノ
史祠王老庄ノ線ヲ確保シ六安方向ノ敵情地形ヲ偵察
スヘシ

四本隊ハ明二十四日八時半個店西端ヲ光頭トシ西面ノ途上
縱隊ニ集合シタル後金橋ニ向ヒ前進スヘシ

五車輛部隊ハ明二十四日光遣隊主力ニ追及シテ原所屬
ニ復歸スヘシ

六予ハ明二十四日八時集合場ニ在リ
爾後本隊ハ光頭ニ在リテ行進ス

光遣隊長

太田

大佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

6 二十時五十分左記高井命令第八四號ヲ下達ス

高井命令第八四號

高井部隊命令

八月二十三日二十時五十分
於清風峯

一 先遣隊ハ一部ヲ以テ本月二十三日十三時官亭鎮附近ニ於テ約
八十、敵ヲ撃退セリ

先遣隊ハ明二十四日金橋及其西方地區ニ進出シ同地附近
ヲ確保シテ六安方向、敵情並ニ地形ヲ偵察ス

二 大隊(車輛部隊)同掩護部隊並ニ將校介候ヲ除クハ本隊ト
トリ金橋附近ニ向ヒ前進セントス

三 各隊ハ明朝八時迄ニ半個店東入口ヲ先頭トシ本日、行軍序
列、如ク西面ノ途上縱隊ニ集合スヘシ

四 予ハ八時大隊、先頭ニ至ル後大隊、先頭ヲ行進ス

大隊長

高

井

少

佐

(二)八月二十四日

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

八時過半個店ヲ出發シ十時金橋ニ到着設營者、誘導リ

ニヨリ十一時左記要圖、如ク宿營ス

ニ十時過左記太作命令第三二號ヲ受領ス

太作命令第三二號

先遣隊 命令

八月二十四日十時
於金橋

一敵清ニ関シ未タ新報ヲ得ス

我第一梯團ハ明二十五日夕金橋ニ到着スル筈

ニ先遣隊ハ明二十五日六安方面ニ對シ躍進シテ地歩ヲ占メ敵

情地形ヲ偵察セントス

三前衛ハ明二十五日宿營地中發光ツ三十里鋪ニ向テ前進シ東

二十鋪及十五里小屯附近、敵清地形ヲ搜索スヘシ

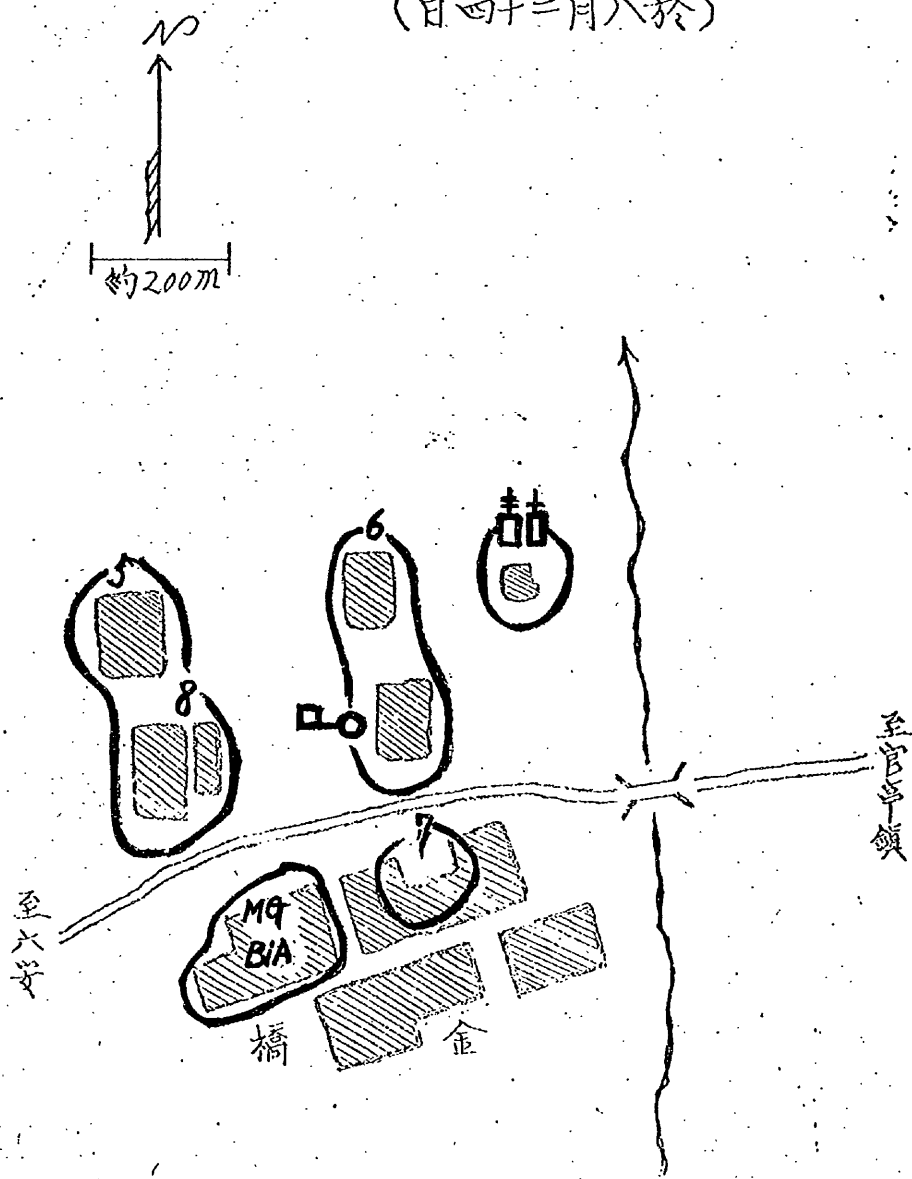
四水隊タル諸隊ハ明二十五日八時金橋西端水道附近ニ集合

5960

T

圖要近附橋金隊大二第

(日四十二月八於)



20

1765

スヘシ

五輜重隊ハ明三十五日朝現在地出發官亭鎮ニ至リ糧秣
防毒面・あか膏及追送品ヲ積載シタル後追及スヘシ
掩護トシテ歩兵一小隊ヲ附ス

六第ニ大隊ヨリ輜重小隊、掩護トシテ一小隊ヲ差出スヘシ

尚架橋材料小隊、掩護トシテ官亭鎮ニ残置シタル一小隊
ヲ歸還ニ際シ同行スヘシ

七予ハ明三十五日八時集合場ニ在リ
爾後本隊、先頭ニ在リテ前進ス

先遣隊長

太

田

大

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

三十一時三十五分左記高作命令第八五號ヲ下達ス

高作命令第八五號

高井部隊命令

八月三十一日三十一時三十五分
於金橋北側部隊

一敵情及友軍、企圖本作命第三號、如シ
 二大隊ハ明ニ十五日本隊トシテ第四中隊ニ次テ前進セントス
 三各隊ハ明朝八時金橋西端ヲ出登シ得ル如ク次、行軍序
 列ニ從ヒ西面、途上縱隊ニ集合スヘシ
 但シ金橋西方ニ宿營シタル部隊ハ宿營地附近ニ於テ行軍
 序列ニ入ルヘシ
 〇 6 (1/3) 8 (1/3) 10 11 12 13 (1/3)
 諸隊吉 5 (1/3) 17
 四第五中隊、清風谷ニ残置シタル小隊ハ架橋材料部隊、掩
 護ニ任シ該部隊ト行動ヲ共ニスヘシ
 五第七中隊ヨリ一小隊ヲ出シ輜重兵小隊、官亭鎮往復ヲ掩護
 セシムヘシ
 六第六中隊ヨリ依然軍旗小隊ヲ出スヘシ
 七予ハ八時金橋西端ニ至ル

大隊長

高

井

少

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

大森及辻田兩將校作候ハ中日夕刻無事歸還セリ

八月二十五日

大隊ハ八時金橋西端附近ニ集合シ次ヲ豫定ハ如ク行動ヲ
起ス 行進路上ノ道路橋梁ノ破壊頗ル甚シ

二十時左記大森命令第三號ヲ受ク

大森命令第三號

先遣隊命令

八月二十五日十時
於 林 界 域

一我カ前進路上各所破壊セラレアリ

二先遣隊ハ全力ヲ以テ前進路ヲ補修シテ宿营地ニ向ヒ

前進セントス

三前衛ハ西峯寺(三十鋪西北約五百米)南北ヲ連スル線以西地

區ニ宿営シ當面ノ敵情ヲ搜索スルト共ニ東三十里鋪ト宿营地

間、道路補修ヲナスヘシ

四第大隊、同庄三十鋪間、道路修築ヲナシタル後三十鋪
附近ニ宿營スヘシ

五水隊タル諸隊ハ現在地ト同庄ト、間、道路破壊箇所ヲ修
築シツ、前進シ同庄附近ニ宿營スヘシ

六予ハ水隊、光頭ニ在リテ行進ス

十八時命令受領者ヲ聯隊本部ニ差出スヘシ

光遣隊長 太田 大佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム
三十時三十分左記高作命令第八六號ヲ下達ス

高作命令第八六號

高井部、隊命令

八月二十五日 十時三十分
於林 界 文

一先遣隊、進路ハ各所破壊セラレアリ

先遣隊ハ此、道路ヲ補修シツ、前進ヲ續行ス

前衛ハ三十鋪以西地區ヲ本隊ハ周庄以東地區ノ道路ヲ
補修ス

ニ大隊（本部第六中隊及第八中隊ノミ）ハ林界以東側
道路ヲ補修シタル後更ニ周庄ヨリ三十鋪ニ至ル間ノ道路
ヲ補修セントス

三第六中隊ハ周庄ヨリ其ノ西方縣路ノ南ニ分岐ル地點迄
第八中隊ハ其ノ西方地區ノ道路ヲ補修スヘシ

四山本大隊ハ部下中隊及第五中隊（二小隊欠）並ニ大小
行李ヲ併ヒ指揮シ聯隊長ノ直接指揮ヲ受クヘシ

五第七中隊（一小隊欠）及車輛部隊ハ穴田大隊ノ指揮
ヲ受クヘシ

六爾餘ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ
七予ハ第八中隊ノ前方ニ在リ

大隊長 高 井 少 佐

(一)八月二十六日

下達法隊長ニ要旨ヲ傳ヘ行動セシメタル後口達事記セシム
以十七時頃各隊ハ豫定宿营地ノル三十鋪附近ニ配宿ヲ終ル

ハ午前中昨日、分擔區分ニ從ヒ未完成地區、道路補修作業
ヲ實施ス

二十三時左記太作命令第三三號ヲ受領ス

太作命令第三三號

先遣隊命令

八月二十六日十三時
於周庄

一我第四中隊ハ昨夕約二百、紅槍會匪ヲ擊退シテ東二十里鋪ヲ

占領シ尚其一部ハ十五里小廟ヲ攻撃中ナルモノ、如シ

ニ先遣隊ハ本二十六日概ネ現在地附近ニ在リテ道路補修並

當面ノ敵情地形ヲ偵察セントス

三前衛ハ主力ヲ以テ東二十里鋪附近ニ前進シ六安東方高地、

敵情搜索並ニ中道南側地區ニ於テ黃家墩ニ至ル進路及

成シ得レハ同地以西六安南側ニ向フ進路、偵察ヲナスヘシ
道路補修任勞田、如シ

四第ニ大隊長、指揮スル第六第八中隊ハ現位置ニ在リテ前
任勞ヲ續行スヘシ

五第四中隊、一小隊（附一分隊ヲ屬ス）ハ十五里小廟東側ヨリ五
里坊ヲ經テ六安北側ニ通スル道路並ニ其ノ附近、敵情偵
察ニ任スヘシ 任勞終了セハ衆所屬ニ復歸スヘシ

六爾餘諸隊ハ現在地ニ在リテ現任勞ヲ續行スヘシ

七本夜、給養ハ携帶口糧甲ニシルヘシ

八予ハ周庄ニ在リ本日二十時命令受領者ヲ予、許ニ差出
スヘシ

光達隊長

太 田

大

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

三十八時頃左記岡作命令第五號ヲ受ク

岡作令第五號

挺進隊命令

八月二十六日十七時
於岡

一支隊進路上、敵ハ數ヶ師ヲ算スルモ總テ過去、戰場ニ於
テ日本軍、打撃ヲ受タル弱兵ニシテ六安附近ニハ保安隊一
團、馬治安、一營内外占據セルモノ、如シ

二挺進隊ハ明ニ十七日早朝現在地出發六安ヲ占領スル目
的ヲ以テ先ツ十五里小廟南北、敵ニ向ヒ前進セントス
爾後六安——徐家集——烏龍廟——固鎮道ヲ曲河、敵ニ向
ヒ突進シ師團主力ノ前進ヲ容易トラシメントス

三前衛ハ正午二十里鋪出發十五里小廟ニ向ヒ前進スヘシ
四本隊タル他、諸隊ハ十二時迄ニ其、先頭ヲ以テ三十鋪ヲ先
頭トシ行軍序列ニ從ヒ路上ニ集合スヘシ

五大隊等ハ所屬隊、出發ヲ待テ路外適宜ノ位置ニ集合シ
支隊先頭ノ出發ト共ニ前進ヲ起シ步兵第三十九聯隊山田

一三

聯重兵軍曹ノ指揮ヲ受ケ三十鋪ニ向ヒ前進スヘシ
 聯重兵小隊ハ此處準備ヲ整ヘ後命ヲ待ツヘシ
 六時ハ六時金橋出發前衛砲兵ト共ニ前進シ爾後本隊ノ先
 頭ニ在リテ行進ス

挺進隊長 岡田少將

下連法 各隊長ニ口達後命令受領者ニ口達筆記セシム

岡田命令第五號別紙

軍隊區分

前衛

司令官

歩兵第三十九聯隊長 太田大佐

歩兵第三十九聯隊(第三第三大隊欠)

傳騎二、旅團無線一班ヲ屬ス

獨立山砲兵第三聯隊第二中隊

獨立工兵第一聯隊第三中隊(小隊欠)

水

隊（同行軍序列）

挺進隊司令部（旅團無敵一班尺）

傳騎 二

師團無敵一分隊

步兵第三十九聯隊第三大隊（第五中隊、一小隊尺）

獨立山砲兵第三聯隊第一大隊（第三、第四中隊尺）

步兵第三十九聯隊第三大隊（第十中隊、一小隊、一分尺）

第十六師團渡河材料一小隊

衛生隊六分、一

輜重兵一小隊

4.十九時五十分左記高作命令第八七號ヲ下達ス

高作命令第八七號

高井部隊命令

八月二十六日十九時五十分
於三十一時
鋪

一我進路上、敵ハ数ヶ師ヲ算スルモ總テ過去、戦場ニ於テ

我軍、打撃ヲ受ケタル弱兵ニシテ六安附近ニハ保安隊一團
 馮治安ノ指揮スル一營内外占據シアルモノ、如シ
 旅團長ハ挺進隊トナリ明二十七日宿營地出發六安占領、
 目的ヲ以テ十五里小廟南北ノ線ニ向ヒ前進ス
 前衛ハ歩三九長ノ指揮スル第一大隊ヲ基幹トスハ正午東
 ニ十里鋪出發十五里小廟ニ向ヒ前進ス
 二大隊(第五中隊、一小隊尺)ハ挺進隊本隊ノ先頭トナリ前
 記進路ヲ前進セントス
 三各隊ハ明二十七日十時五十分迄ニ三十鋪西端ヲ先頭トシ左記
 行軍序列ニ從ヒ西面、途上縱隊ニ集合スヘシ

左記

日 6 7 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

四 大行李ハ山田輜重兵軍曹ノ指揮ヲ受ケ行動スヘシ
 五 予ハ十時五十分集合場ニ至ル爾後大隊ノ先頭ヲ前進ス

八月二十七日

暑熱烈シクメ本日再ヒ防暑帽ノ支給ヲ受ク

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

大隊長

高

井

少

佐

豫定ノ如ク三十鋪ヲ出発シ十四時三十分頃東二十里鋪ニ於テ左

記岡作命令第六號ノ要旨ヲ口達セラル

岡作命令第六號

挺進隊命令

八月二十七日十三時十分
於東二十里鋪西端

一六安並ニ其ノ東側地區ノ敵ニ関シテハ依然確報ヲ得ナルモ其
行動不活潑、只交通線ヲ破壞シテ我前進ヲ遲滞セシメ

主力ハ或ハ退却開始ノ想アリ

左師團右縱隊ハ目下六安南方約三里附近ヲ西進中ナルモ

ノ、如シ

二挺進隊ハ即刻其ノ進路ヲ東二十里鋪——十五里小廟——六

一五

1777

安道ニ向ヒ道ヲ求メテ成ルヘク速ニ六安東南側ニ向ヒ前進セ
ントス

三前衛ハ其ノ隨伴シ得ル車輛部隊ヲ東二十里鋪ニ止メ諸隊
、現行任務ヲ中止シ速ニ前記、六安ニ向ヒ轉進スヘシ

四左迂迴隊ハ長高井少佐、步兵第三十九聯隊第三大隊（第六
中隊、步兵砲小隊、尺）獨立山砲兵第三聯隊第一中隊（一小隊
尺）獨立工兵第三中隊、一小隊旅團無線一分隊ハ即時運
動ヲ發起シテ前衛ニ續行シ東二十里鋪出發六安東南方約
五料十里頭、同六安南方約五料七里崗ヲ經テ六安西方五
里橋ニ向ヒ前進シ敵、退路ヲ遮斷スヘシ

特ニ六安附近ノ民船、確保並ニ爾後ニ於ケル支隊主力、淮河
渡河ヲ顧慮シ其ノ東、西側橋梁ヲ確保スヘシ
又努メテ對岸ノ情況ヲ搜索スヘシ

五第九中隊（機關銃一分隊、旅團無線一分隊ヲ屬ス）ハ右迂

廻隊トナリ直ニ東二十里鋪出発。五里坊、几里溝（六安東方約一里）方面ヨリ六安北側高地ニ向ヒ前進シ敵、退路ヲ遮断スヘシ時ニ民船、確保前岸、敵情ヲ搜索スヘシ

六爾餘、諸隊ハ本隊トナリ現在、序列ヲ以テ高井大隊ニ次テ東二十里鋪ヲ出発スヘシ

但シ獨立山砲兵大隊ハ前衛司令官ノ指揮下ニ入ルモノトス又本隊ニアル車輛部隊ハ東二十里鋪ニ停止セシム

第三大隊長、指定スル一中隊（一小隊欠）ハ東二十里鋪ニ停止シアル支隊、車輛部隊ヲ掩護スヘシ

七大行李輜重兵隊ハ依然現在地ニ在リテ後命ヲ待ツヘシ
八予ハ依然東二十里鋪ニ在リ爾後本隊、光頭ニ在リテ前進ス

挺進隊長 岡田少將

下達法 前衛司令官ニ口達各隊命令受領者ニ口達筆記

一六

二十四時三十五分東二十里鋪ニ於テ左記高作命令第八八號ヲ下達ス
高作命令第八八號

高井部隊命令

八月二十七日十四時三十五分
於東二十里鋪

一六安附近ノ敵ハ退却スルノ態アリ

挺進隊主力ハ東正面ヨリ六安ヲ攻撃シ敵ノ捕捉殲滅ヲ企圖ス

ス

ニ大隊(第六中隊歩兵砲小队欠)ハ旅團長直轄トシテ左迂迴
隊トリ直ニ現在地出發東二十里鋪——十五里小廟(東二
十里鋪西南方約四軒)——十里頭(十五里小廟西方約四軒)
——七里崗(十里頭西方約四軒)ヲ經テ五里橋(六安西方約
三軒)附近ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮断シテ之ヲ捕捉殲滅セ
ントス

尙民船ノ確保並ニ前岸ノ敵情搜索ニ努ム

獨立山砲兵第三聯隊第一中隊(一小隊欠)及獨立工兵第一聯

隊、一小隊並ニ旅團無線一分隊ヲ配屬セラル

三 第八中隊ハ大兵中隊トリテ前記進路ヲ五里橋ニ向ヒ前進スヘ

シ本隊ト、距離ハ約四百米トシ前進開始、時期ハ後命ス

四 爾餘、諸隊ハ本隊トリテ前記行軍序列ヨリ前進スヘシ

左記

○ ☆ 7 (3) M9 BAs Ps 55

五 小行李及車輛部隊ハ南場莊村、區處ヨリ挺進隊主力、
後方ヲ前進シ六安占領後五里橋附近ニ在ル大隊主力ニ追及

スヘシ

六 第六中隊ハ旅團長、直轄部隊タルヘシ

七 予ハ本隊、先頭ヲ前進ス

大隊長 高 井 少 佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

三十五時稍過東十里鋪ヲ出発シ豫定、進路ヲ前進ス

一七

4. 十五里處ニ敵兵五、六十名アリテ我前進ヲ妨害セシモ尖兵中隊ハ直
チ之ヲ撃退ス。戴家崗(十五里處西方約二軒)ニ於テ再び敵數十
名、抵抗ヲ受ケシモ同隊ハ直チ之ヲ非命セリ。

5. 戴家崗東側、橋梁並ニ附近道路、大破壞セラレアルヲ加修、後、王
大井西方十字路ヨリ十里頭ニ向ヒ前進ス。

6. 薄暮、頃揚家(王大井西方約二軒)東方高地線ニ達シ附近、
各高地上ニ敵、點在スルヲ認メタルヲ以テ尖兵中隊ニ新ニ機關銃一
小隊ヲ配屬シ進路上、敵ヲ撃壊セシム。

本戦團ニ於テ第八中隊、兵一員傷セリ。

夕引續キ行進ヲ起ス時既に全ク暗黒ニシテ且ツ頼ルヘキ道路無ク
尚降雨直後、タメ泥濘甚シク行進困難ナルコト其ノ極ニ達ス。

(外)八月二十八日

八時頃約四十分、休止ヲ行ヒタル外悪路ノ前進ヲ強行シ七里崗
場大庄附近ヲ經テ先頭部隊ハ八時頃漸ク五里橋ニ進出シ得ク。

リ後方部隊ハ行軍長徑増大シアリシタメ十時頃漸ク揚大庄(六
安西南方約四折)ニ進出シ得タリ

二八時五里橋ニ於テ左記高作命令第八號ヲ下達セリ

高作命令第八號

高井部隊命令

八月二十八日八時
於五里橋

38

一當面ノ敵ハ未タ我ヲ進出ヲ知ラサルモノ、如シ

二大隊(缺如配屬部隊如旧)ハ五里橋南北地區ヲ總密ニ占領シ

當面ヲ退却スル敵ヲ主トシテ火力ニヨリ殲滅セントス

尚一部ヲ以テ民船ノ蒐集河川ノ偵察橋梁ノ確保等ヲ實施

セントス

三第五中隊(一小隊欠)ハ右第一線トナリ五里橋南側高地ヲ占

領シ主トシテ大王庄方面ニ退却スル敵ヲ射殺スヘシ

四第七中隊(一小隊欠)ハ中央第一線トス

五里橋北側地區ヲ占領シ且一部ヲ以テ左側背ヲ掩護ヒシムヘ

1783

シ

五、第八中隊ハ左第一線トナリ五里橋北方無名部落ヲ占領シ道路北側地區及河面ヲ退却スル敵ヲ射殺スヘシ
 尚一部ヲ以テ民船、鬼集、河川、偵察ヲ行フヘシ

工兵到着セル之ト交代セシム

六、機関銃中隊ハ主力ヲ以テ左翼地區ニ陣地ヲ占領シ主トシテ

河面退却、敵ヲ射殺スヘシ

一部ヲ第五中隊ニ吸力セシムヘシ

七、山砲兵中隊ハ五里橋附近ニ陣地ヲ占領シ主トシテ有利ナル

退却目標並ニ特ニ我ニ危害ヲ與フル敵ヲ射撃スヘシ

八、工兵小隊ハ民船、鬼集及河川、偵察並ニ所要、架橋ヲ行フ

ヘシ

九、第五中隊、一小隊、第七中隊、一小隊、豫備隊トス大隊本部

附近ニ位置スヘシ

百八十五里橋ニ在リ

左近廻隊長

高

井

少

佐

下達法 要旨ヲ隊長ニ傳ヘル後命令受領者ニ口達事記セシム

3. 歩兵部隊ハ概ネ正午前ニ配備ヲ完了シ山砲部隊モ十六時

頃ニハ既ニ射撃準備ヲ完了シ間ミナク渡河退却スル敵、密

集部隊及對岸、敵部隊ニ對シ射撃ヲ開始セリ

4. 此ノ頃、河對岸ニハ一連、敵陣地在リ又宇兵及部隊、行動

セルモノヲ認メタリ時々狙撃ヲ受ク

5. 附圖第一、如キ態勢ヲ以テ陣地ニ就タル儘夜ヲ徹ス

(1) 八月二十日

1. 山砲ヲシテ河岸近ク陣地變換セシメ對岸、敵ヲ狙メテ射撃セシム

十一時頃陣地變換射撃準備ヲ完了ス 十一時三十分頃對岸、

迫撃砲盛ニ活動ヲ始メシヲ以テ直ニ之ヲ撲滅セシム

其他對岸、掩蓋銃座ヲ破壊セシメタリ

2. 六安城、敵情搜索ノタメ、將校作候（長中尾准尉）ヲ派遣ス
 同作候ハ、凡時出発所命、搜索ニ任セルモ、既ニ六安城ハ挺進隊
 主力ノタメ占領セラレアルヲ知り、十二時頃歸還セリ
 3. 茲ニ於テ大隊長ハ六安城ニ至リ、旅團長ニ連絡セル結果左記
 要ヒリ、意圖ヲ受ク

「先遣部隊（歩三九第三大隊ヲ基幹トス）ハ本二十九日夕刻ヨリ六安
 北端附近ヨリ淝河ヲ渡河ス
 高井大隊ハ之レハ援助並ニ五里橋方面ニ於ケル場動ニ任スヘ
 シ」

ハ十五時三十五分左記高井命令第九〇號ヲ下達ス

高井命令第九〇號

高井部隊命令

八月二十九日十五時三十五分
 於五里橋

一 淝河左岸、敵ハ吳大卷子附近ヨリ場果店ニ至リ陣地ヲ占領

シアリ

師團主力ハ本日正午頃ヨリ逐次六安ニ到着シテリ

挺進隊、先遣部隊(第三大隊ヲ基幹トス)ハ本日二十時六安

北端附近ニ於テ淝河ヲ渡河シ老母猪店ニ前進ス

二大隊ハ現在地附近ニ於テ第三大隊、渡河ヲ援助シ併セリ

現在地附近ヨリ渡河、陽動ヲ行ハントス

陽動開始、時期ハ概ネ十八時トス

三第八中隊ハ右第一線トナリ五里橋北側部落ヲ占領シテ前

面、敵ヲ牽制シ其、行動ヲ妨害スヘシ

四第七中隊(一小隊ヲ欠キ附一小隊ヲ配屬ス)ハ左第一線トナリ姚

崗坦南岸部落附近ヲ占領シ第八中隊同様ノ任務ニ服スヘシ

五機関銃中隊主力ハ第八中隊正面ニ位置シ第八中隊同様ノ任

務ニ服スヘシ

尚一小隊ヲ第七中隊ニ配屬スヘシ

六山砲兵中隊ハ五里橋臺上ニ陣地ヲ占領シ淝河左岸ニ於ケル

ニロ

敵部隊ヲ射撃スヘシ

七五兵小隊ハ夜ヲ構築シ渡舟ト共ニ界河支流入口附近ヲ行

動シ渡河、陽動ヲ行フヘシ 作業終了後ハ豫備隊トス

八第五中隊及第七中隊、一隊ハ豫備隊トス

大隊本部附近ニ位置スヘシ

九予ハ現在地ニ在リ

大隊長

高

井

少

佐

43

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

五各隊ハ前項命令ニ基キ直ニ行動ヲ開始シ山砲部隊ハ適時

良目標ニ對シ射撃ヲ行ヒタリ

六六安附近、戦闘ニ於ケル死傷表第一疏附表、如シ

七六安附近、戦闘ニ於ケル鹵獲表第二疏附表、如シ

八六安附近、戦闘ニ於ケル武器彈藥損耗表第三疏附表、如シ

八月三十日

ノ在五里橋部隊ハ七時三十分迄ニ六安西關外部落西端附近ニ集結シ後命ヲ待ツト共ニ砲、工兵部隊ヲ其ノ本屬ニ復歸セシムヘキ挺進隊命令ヲ受ケ同時迄ニ所命ノ如ク集結ヲ完了ス

二十時三十分左記高作命令第一號ヲ下達ス

高作命令第一號

八月三十日十三時三十分
於六安西關外部落西端

一六安對岸ニ在リシ敵ハ今朝既ニ退却セリ

聯隊主力ハ六安北端附近ニ於テ渡河シ目下老母猪店ニ集結中ニシテ後刻尚廟子ヲ經テ徐家集ニ向ヒ前進スル

事

挺進隊主力ハ現在地附近ニ架橋完成後淝河ヲ渡河シ聯隊主力ニ追及ス

ニ大隊(車輛部隊ヲ除ク)ハ架橋完成後挺進隊司令部ニ次テ渡河シ前記進路ヲ徐家集ニ向ヒ前進セントス

三 第八中隊（附一小隊配屬）ハ挺進隊、左側衛トナリ 呉大
 老子——場果店——新店子道ヲ經テ徐家集ニ向ヒ前進
 シ警戒ニ任スルト共ニ特ニ該道路、價值ニ就テ偵察スヘシ
 四 多田少尉ハ半小隊ヲ率ヒ將校作候トナリ老母猪店附近
 ニ在ル先遣隊ニ連絡シ同地ニ至ル間、道路ヲ偵察スヘシ
 五 爾餘、諸隊ハ左ノ序列ニヨリ渡橋シ續テ前進スヘシ
 但シ第六中隊、一小隊ハ旅團、直接使用ニ供スヘシ
 左側衛（8. 班）

口

古

6

5

7

14 (1/4)

六 各隊渡橋開始、時期ハ後命ス

直ニ出発シ得ル、準備態ハ勢ニテ待機スヘシ

七 車輛部隊ハ穴田大尉、指揮ニヨリ續行スヘシ

八 第八大隊、先頭ニ在リテ前進ス

大隊長

高

井

少

佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

3. 架橋完成セシヲ以テ十五時十分旅團司令部ニ次テ渡橋シ吳大卷子附近ニ於テ聯隊主力ト合シ其ノ指揮下ニ復歸シテ續テ前進ス

4. 多田將校作候ハ任務ヲ終了シテ主力ノ渡河ト共ニ復歸シ第八中隊ハ其ノ前方ニ既ニ聯隊主力ヨリ一部隊前進セシメタルヲ以テ吳大卷子附近ニ於テ大隊ニ復歸セリ

5. 道路ノ阻絶甚大ニシテ前進意ノ如クナラス終夜行軍ヲ續行ス

(1) 八月三十一日

1. 夜來言語ニ絶スル惡路ノ行軍ヲ續ケ二時乃至四時ノ間ニ漸ク徐家集ニ達シ大休止ヲ爲ス

2. 二時稍々前進隊長ヨリ騎兵第三聯隊長星中佐ノ指揮ヲ受ケ約半大隊ヲ以テ先遣隊トナリ洪家集ニ向ヒ前進スヘキ命ヲ口達セラル

尚騎兵聯隊長到着迄ハ先遣隊タル諸隊ヲ指揮スヘキ旨
 付如セラレタリ

3. 二時十分左記高作命令第凡ニ號ヲ下達ス

高作命令第凡ニ號

高井部隊長令

八月三十一日二時十分
 於徐家集

一當面、敗残兵ハ今朝當地附近ヲ後退セルモノ、如シ

挺進隊ハ今朝現在地出發洪家集ニ向ヒ前進ス

騎兵第三聯隊長、指揮スル約ニ中隊及獨立山砲兵第三

中隊ハ新ニ挺進隊ニ配屬セラル

ニ大隊（第六、第八中隊、機關銃中隊、半部步兵砲小队、大行

李尺）ハ騎兵第三聯隊長、指揮ニ屬シ左記部隊ト共ニ

挺進隊、先遣隊トナリ今朝七寺現在地出發煙墩集――

汪油房――洪家集道ヲ洪家集ニ向ヒ前進セントス

騎兵聯隊長到着迄予ハ先遣隊ヲ指揮ス

左記

騎兵第三聯隊(約二中队欠)

獨立山砲兵第三中队(一小隊欠)

獨立工兵第三中队(一小隊欠)

旅團無線一分隊

三第五中队(一小隊欠)ハ尖兵中队より七時出發前記進路ヲ

洪家集ニ向ヒ前進スヘシ

本隊ト、距離約四百米トス

四工兵中队ハ尖兵中队ニ續行シ進路上ノ障碍排除及道路

、補修ニ任スヘシ

五爾餘ノ諸隊ハ左記行軍序列ヲ以テ七時現在地ヲ出發ス

ヘシ

左記

日

1/5

7(1/3)

M9(1/2)

BAs(1/2)

1/7

二三

六大隊、殘餘部隊ハ田中中尉、指揮ヲ以テ聯隊、直轄ト
ナルヘシ

セ予ハ本隊、先頭ニ在リテ前進ス

大隊長 高 井 少 佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

ハ七時稍々過徐家集ヲ出発ス 道路、破壊從來ニ等シク爲ニ

先遣隊ハ逐次進路ヲ補修シツ、前進シ十六時十分洪家集

東側渡河點ニ到達ス 附近ニ敵ヲ認メス

橋梁亦破壊セラレアリ

ハ十六時十五分左記高井命令第九三號ヲ下達ス

高井命令第九三號

高井部隊命令

八月三十一日十六時十五分
於洪家集東側渡河點

一敵情ニ関シ新報ヲ得ス

ニ先遣隊ハ各一部ヲ以テ前方諸要點、確保並ニ偵察ヲ實施

シ目ツ上街子附近、宿營ヲ準備セントス

三第五中隊ハ森ニ前進シテ洪家集ヲ掃蕩スヘシ 掃蕩完了セ

ハ其ノ西端ニ集結シ後令ヲ待ツヘシ

四辻田少尉ハ約一小隊ヲ以テ上街子、北方無名河、渡河點確

保ニ任スヘシ

五本間少尉ハ約一小隊ヲ以テ洪家集北方無名河、情況偵察

ニ任スヘシ

六工兵隊ハ渡河設備ヲ増強シ獸馬、通過ヲ安全ナラシム

ル如ク工事スヘシ

第七中隊、一小隊ヲシテ援助セシム

七各隊設營者ハ大隊副官、指示ヲ受ケ上街子附近ニ宿

營ノ準備ヲ爲スヘシ

ハ予ハ暫ク現在地ニ在リテ作業ヲ指導シタル後宿營地ニ至ル

大隊長

高

井

少

佐

歩兵中隊 第七中隊
本隊(同行軍序列)

左記

下達法 命令受領者ヲ集メテ達事記セシム
 前記渡河點ニ於テ騎兵第三聯隊長星中佐進及セラレ先
 遣隊ハ其ノ指揮下ニ入ル
 時ニ十七時ナリ
 十八時過各隊ハ上街子北無名部落ニ投宿ヲ完了ス
 二十一時頃先遣隊長ヨリ「明九月一日モ依然本日ノ要領ニ準
 シ騎兵部隊以外ノ諸隊ハ高井歩兵少佐ノ指揮ニヨリ烏龍
 廟附近ニ向ヒ前進スヘシ」ト、命令ヲ受ケ
 (7) 九月一日
 十七時左記軍隊區分ニヨリ宿營地出發 烏龍廟ニ向ヒ前進
 ス

- 大隊本部（旅團無線一分隊ヲ含ム）
 第五中隊（一小隊欠）
 機関銃中隊（一小隊欠）
 小 行 李
 獨立工兵第三中隊（一小隊欠）
 獨立山砲兵第三中隊（一小隊欠）
 第五中隊、一小隊
 2. 飛行機、通報ニシテハ烏龍廟ニ約百内外、敵アリシモ我部
 隊、進出前既ニ退却セリト謂フ
 3. 十四時三十分頃烏龍廟北側無名部落ニ到着シ同地附近ニ
 村落露營ヲナス
 附近ニ敵ヲ見ス
 4. 二十時三十分左記騎三作命第九四號ヲ受領ス
 騎三作命第九四號

光遣隊命令

九月一日二十一時三十分
於烏龍廟西北方三軒部迄

一烏龍廟ヲ占據シアリシ敵ハ約五十ニシテ騎兵隊、攻撃ニヨリ
西北方ニ潰走ヒリ亦當面、敵ハ依然退却ヲ續行中ナルモ
ノト判斷セラル

挺進隊ハ明早朝現在地出發良道ヲボメテ黎家集ニ向ヒ
前進ス

二先遣隊ハ明二日七時現在地出發騎兵主力ヲ以テ現在地
——上官橋——劉集——石佛店道ヲ石佛店ニ向ヒ前進
セントス

三騎兵隊ハ明二日七時宿營地出發前記進路ヲ石佛店ニ向ヒ
前進スヘシ

四高井歩兵少佐ハ砲兵中隊並ニ工兵中隊ヲ併セ指揮シ七時
宿營地出發上官橋——黎家集——石佛店道ヲ成ル可ク
石佛店近シ迄前進スヘシ

將來師團車輛部隊通過ノため道路偵察ヲ併ヒ實施スヘシ
 明後三日ノ行動ニ関シテハ電命ス依テ通信連絡出来得ル
 如ク隨時準備シタルヘシ

五、予ハ明二日七時宿營地西端ニ在リ

爾後騎兵隊ト共ニ行動ス

光遣隊長

星

中

佐

下達法 事記文付

(11) 九月二日

ノ七時稍過左記軍隊巨分ニヨリ宿營地ヲ出発シ所令ノ進路
 ヲ石佛店ニ向ヒ前進ス

折カラ、降雨頻リニレテ道路泥濘化シ行軍難渋ナリ

左記

尖兵中隊

第五中隊

本隊(同行軍序列)

獨立正兵第三中隊主力（大兵中隊、後尾ニ續行）

大隊本部（旅團無線一分隊ヲ含ム）

第七中隊

機關銃中隊（二小隊又）

小行李

獨立山砲兵第三中隊（一小隊又）

2. 半個店（黎家集東方約七料）附近ニ黎家集ニ至ル道ヲ求

メ得ス遂ニ劉集（石佛店東、南約十三料）ニ出テ固井店（石

佛店東南方約三料）ニ進出セリ

3. 各隊ハ十八時乃至二十時、間ニ固井店ニ到着シ同地附近ニ宿

營ス

必固井店ニ於テ補給ニ來リシ敵、通信兵ニ名ヲ捕虜トス

（カ）九月三日

ノ七時三十分左記高炸令第凡四號ヲ下達ス

高作命第九回號

高井部隊命令

九月三日七時三十分
於岡中店

一敵情ニ関シ新報ヲ得ス

我騎兵部隊ハ黎家集ニ於テ史河對岸、敵ト相對峙セル
モノ、如シニ大隊ハ石佛店附近ニ進出シ一部ヲ以テ小英集方面、敵情ヲ
搜索シ又工兵部隊ノ主力ヲ以テ石佛店西南方地區ニ於ケ
ル史河、偵察及成シ得レハ渡河設備ヲ實施セントス三第七中隊（一小隊欠）ハ小英集附近ニ前進シ當面、敵情及
道路、情報ヲ偵察スヘシ四工兵中隊（一小隊欠）ハ石佛店―張老埠（石佛店西南方約三軒）
道上ニ於ケル史河、情報ヲ偵察シ成シ得レハ渡河設備ヲ
實施スヘシ

第五中隊、一小隊ヲ配屬ス

五工兵中隊、一小隊ハ二郎店附近、渡河、難易ヲ偵察シ騎兵
部隊、通過ヲ容易ナラシムル如ク作業スヘシ

作業終了後部隊ニ追及スヘシ

第五中隊、一小隊ヲ配屬ス

六爾餘、諸隊ハ八時現在地出登左記行軍序列ヨリ石佛店

ニ向ヒ前進スヘシ

左記

PO 137

5 (1/2)

MG (1/2)

3BA (1/2)

セブハ本隊、先頭ニ在リテ行進ス

大隊長

高

井

少

佐

下達法 要旨ヲ隊長ニ傳ヘタル後命令受領者ニ口達事記

各隊ハ前項命令ニ基キ八時稍々前ヨリ夫々行動ヲ開始シ主力

部隊ハ八時稍々過北進ヲ起ス

夏老營子(石佛店東南方約一軒半)附近ニ至ルヤ約百名内外ノ

敵同部隊ニ在リテ我ニ對シ急襲的射撃ヲ浴セタルモ直ニ第七中隊
ハ之ヲ撃攘シテ北進セリ

我ニ損害ナリ大隊主力モ之ニ次テ前進シ凡時十分石佛店ニ達ス
凡時十分石佛店南端ニテ星騎兵聯隊長ト連絡ナリ先遣隊、既
屬ヲ解カレタル旨傳達セラル

カニ郎庙附近及ヒ飛老埠附近、渡河設備、タメ派遣ヒシ部隊ハ
挺進隊長ヨリ直接其、必要ナキ旨達セラレ十時前後夫々所屬
部隊ニ復歸セリ

六十二時過聯隊長ヨリ『石佛店北方地區、敵ニ對シ主力、渡河掩
護並ニ渡河點ニ至ル間、地形偵察』ヲ命セラル

ク聯隊長、直轄指揮下ニ在リシ大隊、半部ハ十二時過大隊長、
辛裡ニ復歸セリ

八十二時三十分左記高作命令第九五號ヲ下達ス
高作命令第九五號

高井部隊命令

九月三日十時三十分
於石佛店

一 柳樹店附近ニ相當、敵部隊在ルモノ、如シ

挺進隊ハ明早朝石佛店西方地區ニ於テ史河、徒渉ヲ企圖
シアリ

ニ 大隊ハ一部ヲ以テ柳樹店方面、敵ニ對シ挺進隊ノ石佛店
西方ニ於ケル史河渡河ヲ掩護セシメ主力ハ石佛店ニ待機セン
トス

三 第七中隊(機關銃一小隊配屬)ハ主力ヲ以テ小呂集(石佛店
北方約三軒)附近ヲ占領シテ挺進隊主力、史河渡河ヲ掩護
スヘシ

尚一部ヲ沙崗店附近ニ進出セシメ前面、敵情地形ヲ偵察
セシムヘシ

四 第五中隊ヨリ渡河點ト、連絡ヲタテ將校等數ヲ以テ同地附
近、地形ヲ偵察セシムヘシ

五爾餘、諸隊ハ現在地ニ待機シアルヘシ
六予ハ石佛店ニ在リ

大隊長

高

井

少

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

7. 前項命令ニ基テ各隊ハ夫々所命ノ如ク行動シ主力部隊ハ
大休止ノ態勢ヲ以テ石佛店ニ於テ夜ヲ徹ス

(四) 九月四日

ノ大隊ハ爾今挺進隊長直轄タルヘキ挺進隊命令ヲ受ケ三時
三十分左記高作命令第九六號ヲ下達ス

高作命令第九六號

高井部隊命令

九月四日三時三十分
於石佛店

一 柳樹店東西ノ線ニハ相當有力ナル敵部隊在ルモ、如シ又
張老埠附近ニモ若干ノ敵存在スルモノ、如ク黎家集附近ニモ
敵兵出沒ス

挺進隊ハ今朝石神店西方地區ニ於テ史河ヲ渡河シ同河
左岸地區ニ進出ス

二大隊ハ爾後旅團直轄トナリ諸隊出發後現在地ヲ出發シ渡
河點ニ向ヒ前進セントス

三第五中隊、一小隊ハ石神店ヲ確保シテ第七中隊ヲ收容スルト

共ニ旅團、轉進ヲ掩護スヘシ

第七中隊、歸來ト共ニ大隊主力ニ追及スヘシ

四爾餘、諸隊ハ四時三十分石神店中央ヲ先頭トシ左記行軍
序列ニ從ヒ南面、途上縱隊ニ集合スヘシ

左記

日 8. 6. 1945 (1/2) 土

五第八中隊一部ヲ以テ渡河點ニ至ル進路、偵察並ニ警戒ニ
任スヘシ

六第五中隊ヨリ小隊長、指揮スル中、小隊ヲ以テ挺進隊司令

部ノ護衛ニ任ヒシムヘシ

七第中隊ハ依然現任務ヲ續行シ十時頃現地ヲ撤シ主力ニ
連及スヘシ

八予ハ四時三十分部隊ノ先頭ニ至ル

大隊長

高

井

少

佐

(2)

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記ヒシム

2. 前項命令、如ク出発シ几時石佛店西南方地区ニ於テ史河

ヲ徒歩シ旅團司令部、後方ヲ逐次南大橋ニ向ヒ前進ス

3. 第七中隊(配屬機関銃共)及第五中隊、一小隊ハ十二時追及シ

大隊ニ復歸セリ

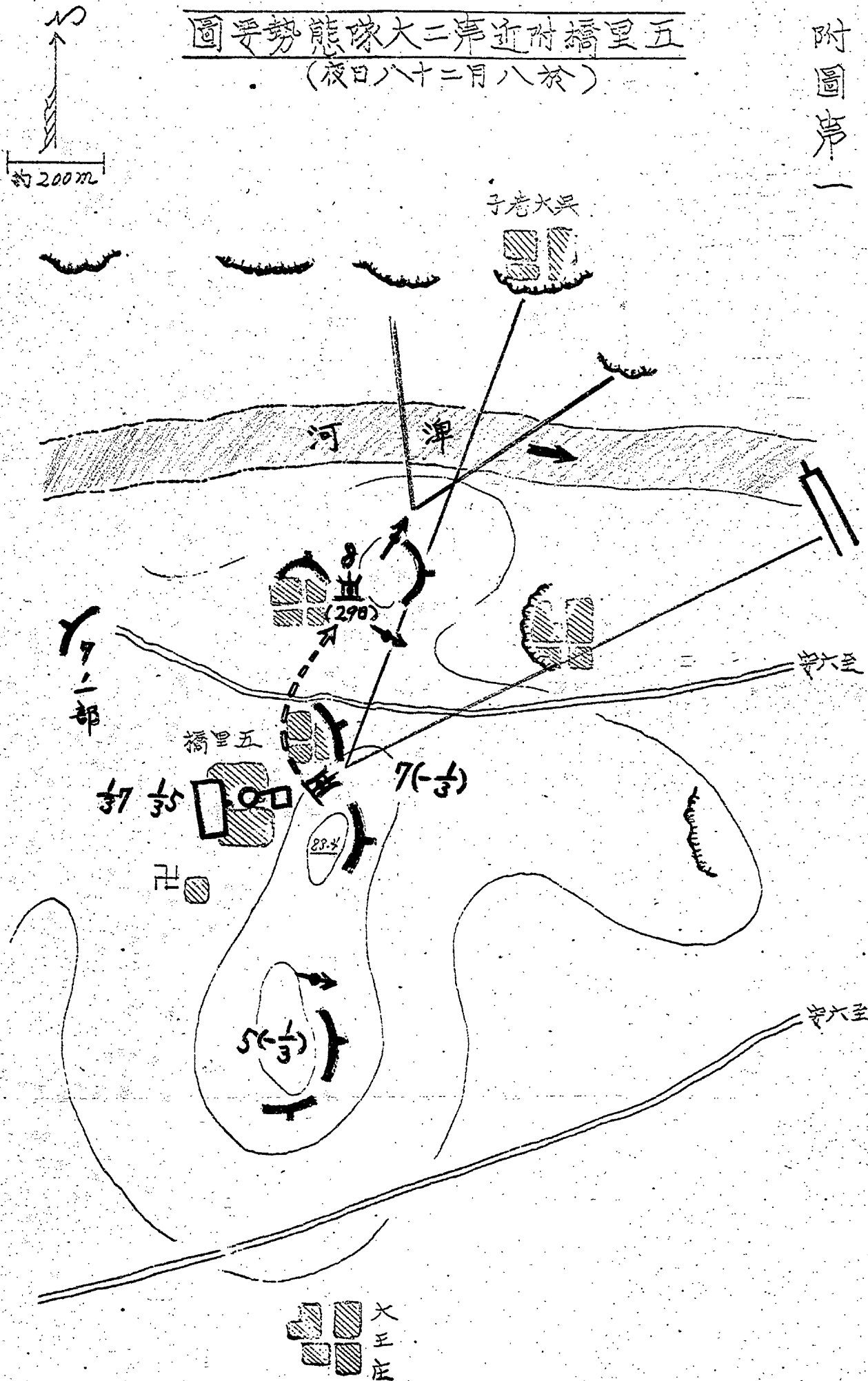
4. 前方部隊ハ十八時頃南大橋ヲ占領ス

大隊ハ之ニ續テ同地ニ達シ二十一時乃至二十二時頃南大橋

西南側地区ニ村舎露営ヲナス

附圖第一

五里橋附近第二大隊態勢要圖
(於八月二十八日夜)



0997

戰鬪詳報第一號附表									
自八月二十七日至八月二十九日步兵第三十九聯隊第三大隊死傷表									
隊區分	戰鬪參加人員	死		傷		生		死不用	
		將	校	將	校	將	校	將	校
大隊本部	五	二二	三						
第五中隊	四	一四三							
第六中隊	三	一五八							
第七中隊	四	一三三			一				
第八中隊	三	一二三				一			
機關銃隊	四	一〇九	二八						
步兵隊	九四	一二							
大行李	(三六)	三六							
小行李	(三二)	三二							
合計	二三	七八二	一一一		一	一			
備考	(一)	內ハ韃靼兵特務兵ヲ示ス							
二	戰傷將校ヲ述ビ少尉								

6660

備考		員數	區分	種類	戰鬪詳報第二號附表	
			將校	俘	自八月二十七日 至八月二十九日	
		三	以下官	虜	步兵第三十九聯隊第三大隊鹵獲表	
		二	小銃	戰		
		一	輕機銃	利		
		三五〇	彈藥	品		
				遺棄屍體		

65

1810

戰鬪詳報第三號附表

自八月二十七日
至八月二十九日
步兵第三十九聯
隊武器彈藥損耗表

[illegible]

1001

自昭和十三年九月五日
至同年同月六日

固始附近、戦闘詳報

歩兵第三十九聯隊第二大隊

67

1812

自九月五日至九月六日

固始附近、戦闘詳報

歩兵第三十九聯隊第二大隊

一旅團豫備タリシ我々大隊ハ九月四日夜遅ク南大橋西南部ニ到着シ同地ニ宿營ス

二南大橋ニ在リシ敵ハ四日夕刻北方ニ退却セシモ固始南方地區ニハ相當ノ敵部隊在ルモノ、如シ

三固始南方地區ハ地形、變化多ク大坡状地ヲナス一面小地物亦相當點在シタリ

畑地ハ通行自在ナルモ水田ハ通過シ得サルヲ通常トセリ

四各層日ニ於ケル行動、概要

九月五日

八三時頃左記太作命第三七號ヲ受領ス

太作命第三七號

太田部隊命令

九月五日一時三十分
於南大橋

一南大橋附近ニ於テ敗レル敵ハ固始方向ニ退却セルモノ、如シ
挺進隊ハ本五日固始占領ノ目的ヲ以テ光ツ其、西南方六
軒老城迄ニ又路附近ニ向ヒ前進ス

二聯隊(第一大隊、第二中隊、第三機関銃中隊、一小隊)獨ニ
山砲兵第三中隊、獨ニ工兵第三中隊、旅團無線一分隊、傳
騎ニハ前衛トナリ本五日五時現宿營地出發道ヲ求メ
テ老城迄ニ又路ニ向ヒ前進セントス

三第二大隊(第一中隊、第二中隊、第三中隊)配屬ノハ前兵トナリ
本五日五時南大橋北側ニ又路以北ノ地區ニ集合シタル後
五時出發道ヲ求メテ老城迄ニ又路ニ向ヒ前進スヘシ

四前衛ノ諸隊ハ前衛本隊トナリ南大橋北側ニ集合シタル後
大記行軍序列ニヨリ前兵、後方四百米ヲ續行シ得ル
如ノ集合スヘシ

左記

軍旗小隊(第ニ中隊、一小隊)

聯隊本部

第ニ大隊、ニ中隊

獨立山砲兵中隊

第ニ中隊(一小隊足)

第ニ機關銃中隊、一小隊

五軍旗小隊、本五日集合時現服務、小隊ト交代スヘシ

六予八本五日五時集合場ニ在リ

後前衛本隊、先頭ニ在リテ行進ス

前衛司令官 太田大佐

下達法 命令受領者ヲ集メテ達事記セシム

之四時左記高作命令第九七號ヲ下達ス

高作命令第九七號

高井部隊命令

九月五日四時
於南大橋

一南大橋附近ニ於テ敗レタル敵ハ固始方向ニ退却セシモ、如シ
挺進隊ハ本日固始占領ノ目的ヲ以テ先ツ啖城宅（固始
西南方約六軒）附近ニ向ヒ前進ス
聯隊ハ我々大隊其他ヲ以テ前衛トナリ前記地區ニ向ヒ前
進ス

二大隊（第六、第七中隊ヲ欠キ獨立工兵第三中隊配屬）ハ前
兵トナリ今朝五時迄ニ南大橋北方約五百米附近ニ集合シ
道ヲ求メツ、啖城宅ニ向ヒ前進セントス

三第八中隊ハ尖兵中隊トナリ進路ヲ求メツ、前記地點ニ向ヒ
前進スヘシ

本隊ト、距離ハ約三百米トス

一爾餘ノ諸隊ハ前兵本隊トス 左記行軍序列ヲ以テ五時
宿營地ヲ出發スヘシ

左記

目

5

19

古

3P

五第六、第七中隊ハ前衛本隊トス 聯隊長、直接指揮ヲ受クヘシ

六予ハ五時集合場ニ至ル

爾後前兵、先頭ヲ前進ス

大隊長

高

井

少

佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達事記セシム

3. 五時稍々過前進ヲ起ス

黎明六時頃尖兵、王小橋ニ達スルマ至近距離ヨリ急襲的

猛射ヲ受ク 尖兵中隊ハ主力ヲ以テ暫時之ト交戦、上同地ニ

據レル敵ヲ撃壊シ王小橋ヲ占領ス

地形判断上直ニ西方約七百米附近、高地線ヲ占領スルノ要ヲ認メシヲ以テ尖兵中隊、一小隊ヲ以テ王小橋ヲ確保セシメ(主

カ、高地線占領後追及セシム。前兵主力ハ西方高地線ニ向
ヒ轉進シ同高地ヲ占領シテ後方部隊ノ進出ヲ容易ナラシム
ルニ決ス

5. 六時三十分頃高地線ノ敵ヲ驅逐シテ同高地ヲ占領セリ

七時過第ハ及第七中隊大隊ニ復歸シテ高地ニ追及セシヲ
以テ第七中隊ヲシテ左第一線トナシ第八中隊ノ左翼ニ連繫シテ
臺端ヲ占領セシメタリ

當時、戰鬪經過附圖第一、如シ

6. 挺進隊ハ猪突的ニ正面ヨリ敵ヲ攻撃スルコトナリ西方ニ迂迴スル
コト、ナリシヲ以テ大隊ハ現態勢ヲ以テ迂迴、初動ヲ掩護シ
タル後十時頃後方ニ兵力ヲ集結シ第一大隊並ニ聯隊本部ニ
次テ秋橋子ニ轉進ス

此、間敵迫撃砲、猛烈ナル集中射撃ヲ受ケシモ十二時頃
秋橋子附近ニ集結ヲ了ル

十三時頃、第五、第八中隊ヲ以テ老賊宅方面ノ敵情搜索、タメ老賊ニ進出シ夫々地區ヲ擔任シ敵情ヲ搜索ヒシム

十五時頃ニ至リ老賊宅附近ニハ約三百ノ敵在ルコトヲ知レリ
 十四時三十分頃聯隊長ヨリ『第二大隊ハ五里堆附近ニ向ヒ左第一線トシテ攻撃前進スヘシ』ト、命令ヲ口達セラレ
 又茲ニ於テ十五時五十分頃高作命令第八號ヲ下達シ十五時四十分
 攻撃前進ニ移ル

高作命令第八號

高井部隊命令

九月五日十五時
 老賊

一敵、大部ハ固始城外南側地區ニ在ルモノハ如シ
 聯隊ハ五里堆狙撃線ニ向ヒ前進シ固始城攻略ヲ準
 備ヲナス

二大隊（第五、第八中隊）ハ左第一線トナリ光ッ老賊宅ヲ占

領シ次テ五里堆及其東方地區ニ向ヒ前進セントス

三第六中隊ハ右第一線トス 隔苗子附近ニ展開シ北部老喊宅
ノ敵ヲ攻撃スヘシ

四第七中隊ハ左第一線トス 現在地附近ニ展開シ南部老喊
宅ノ敵ヲ攻撃スヘシ

五機関銃中隊ハ主力ヲ以テ左方ヨリスル敵ノ側防火器ヲ制壓
シ一部ヲ以テ第六中隊ノ戦鬪ニ直接助力スヘシ

六攻撃前進ノ時期ハ十五時四十分トス

老喊宅ヲ占領ヒハ爾後、前進ハ後令ス

七予ハ第七中隊、後方ヲ前進ス

大隊長 高 井 少 佐

下達後各隊長ニ要旨ヲ口達シタル後命令受領者ニ口達筆記セシム

ノ各隊ハ猛烈ナル敵火ヲ意トセス果敢ニ前進シ十六時三十分老
喊宅ニ據ル敵ヲ撃破シテ夫々所命ノ地點ヲ占領ス

當時右大隊方面ハ銃聲ヨリ判断スルニ未タ前進セシヤ
ヲシルモノ、如キヲ以テ現在地ニ於テ五里堆方面ニ對スル攻撃
ヲ準備セシム

ハ十八時攻撃ヲ再興ス先ツ展開線ヲ八里張及劉庄ニ推進シ
テ後攻撃前進ニ移ル

八里張附近ニ於テ第八中隊大隊ニ復歸セシヲ以テ左翼後ニ豫
備隊トナス

夕暮色漸クニシテ迫ラントスル二十時稍々過五里堆及其東方地

區一帯ニ互ル敵ヲ撃攘シ同地ヲ占領シ得タリ

依テ第六中隊ヲ以テ馮庄北方地區ヲ第七中隊ヲシテ五里

堆ヲ確保セシメ爾餘ノ諸隊ヲ馮庄ニ集結シテ夜間ノ夜軍

相撃ヲ避クルタメ聯隊主力トシテ連絡ヲ密ナラシメントセリ

二十時五十分頃第五中隊大隊ニ復歸シ馮庄ニ到着セリ

本谷少尉ヲ聯隊本部ニ派遣シ連絡ニ任セシム

五

14 本日午後ニ於ケル戦闘経過時圖第ニノ如シ
 15 本日、戦闘ニ於ケル死傷表第ニ號附表、如シ
 16 本日、戦闘ニ於ケル鹵獲表第ニ號附表、如シ
 17 本日、戦闘ニ於ケル武器彈藥損耗表第ニ號附表、如シ

月六日

聯隊本部ト、連絡ニ任シアリタル本谷少尉ハ二時頃歸還シ聯
 隊長、企圖ヲ傳達シタルヲ以テ之ヲ基礎トナシ左記高作命
 第凡九號ヲ下達ス

高作命第凡九號

高井部隊命令

九月六日二時三十分
 於瑪

一 固始南方、敵ハ依然各所ニ低抗シツ、アリ
 挺進隊ハ本早曉ヨリ此、敵ヲ攻撃シ東部固始次ヲ西部固
 始ヲ一撃ニ突破シ引續キ曲河、線ニ向ヒ進出ヲ企圖ス
 聯隊（第三大隊ヲ欠ク）ハ其、主力部隊トシテ攻撃ヲ担任ス

二大隊ハ一部、兵力ヲ現在地附近ニ残置シテ主力ノ左側ヲ掩護セシメ主力ハ第一線左大隊トシテ劉家高庄ヨリ華祖廟ニ進出シ吳家花園西側地區ヨリ東部固始西南端附近ニ向ヒ攻撃シ西部固始攻撃ニ方リテハ其ノ南半部ヲ東方ヨリ攻撃セントス

三第中隊ハ現在其ノ一小隊ヲ以テ確保シタル一軒家ヨリ大隊本部西北側附近ニ互ル間ヲ占領シ挺進隊主力ノ左側背ヲ掩護スヘシ

爾後聯隊直轄トス

ハ中隊ハ五時三十分迄ニ劉家高庄南側ニ集結シ聯隊本部トナルヘシ

五大隊(第六、第八中隊欠)、諸隊ハ左第一線トシタルタメ五時三十分迄ニ劉家高庄南側ニ集合スヘシ

六予ハ五時三十分劉家高庄南側聯隊本部附近ニ在リ

大隊長 高 井 少 佐

下達法令令受領者ヲ集メ口達事記セシム

2. 五時三十分劉家高庄南側ニ集結ヲ了ル

此、時聯隊長ヨリ『右大隊ノ華祖廟ヲ奪取スル迄ハ右大隊ノ後方ニ位置スヘシ』ト、口達命令ヲ受ク右大隊ハ六時過ヨリ華祖廟ニ對シ攻撃ヲ開始セシモ敵頑強ニ抵抗シテ戦況有利ニ進展セス

3. 挺進隊長、意圖ニヨリ九時頃聯隊長ヨリ左ノ企圖ヲ電話ニテ指示セラル

『大隊ノ左第一線タルコトヲ取止メ改メテ右第一線トス

史河ニ沿フ地區ヲ前進シ東南方ヨリ東固始ヲ攻撃スヘシ 後

刻第八中隊ヲ大隊ニ復歸セシム』

4. 九時三十分左記高作命令第一〇號ヲ下達シ十時過第八中隊、到着ト共ニ劉家高庄ヲ出發ス

高井部第一〇〇號

高井部隊命令

九月六日午後三時三十分
於刈家高庄北端

一華祖廟南方地區ノ敵ハ頑強ニ抵抗シツ、アリ第一大隊ハ目下
之ヲ力攻中ナリ

聯隊ハ主力ヲ右翼方面ニ轉用シ東南方ヨリ固始攻撃ヲ企
圖ス

ニ大隊（第六中隊又ハ）左第一線トシテ、攻撃ヲ中止シ改メテ

右第一線トナリ史河左岸ニ沿ヒテ徐嘴附近ニ向ヒ前進シ

同方面ヨリ東固始ヲ攻撃セントス

三第五中隊ハ尖兵中隊トス、本隊ノ前方約三百米ニ在リテ前記
進路ヲ徐嘴ニ向ヒ前進スヘシ

四爾餘ノ諸隊ハ本隊トス左記行軍序列ニヨリ第八中隊、到
着ト共ニ前進ヲ開始スヘシ

左記

8 7 14 8

五前進間各隊ハ左方ニ對スル遮蔽ト警戒ニ留意スヘシ
六予ハ本隊ノ先頭ヲ前進ス

大隊長 高 井 少 佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

五十一時過史河屈曲點附近、無名部落ニ達シタル頃ヨリ徐々西
側高地及華祖廟東方臺上ヨリ熾烈ナル十字火ヲ被リ又狙撃
方面ヨリハ數十名ノ敵我左側ニ向ヒ攻撃シ來ル

六、尖兵中隊ハ内海小隊ヲシテ左側臺上ヲ占領セシメ以テ狙撃方
面ニ對スル警戒ニ當ラシメ主力ハ華祖廟東南無名部落南方
約百米ノ凹地ニ達シ同部落ニ據ル敵ト相對峙ス

本隊タル諸隊ハ敵ノ猛射ヲ冒シテ逐次區分前進ヲ行ヒツ
時三十分頃前記凹地ニ集結ヲ了ル

十三時四十分左記高作命令第一二號ヲ下達ス

高井部第一二號

高井部隊命令

九月六日十三時四十分
於祖塞東方無名部

一 徐甯西南方、高地端ニハ一帯ニ敵ヲ認ムルコト諸官ノ目視スル

カ如シ

二 大隊ハ此ノ敵ヲ攻撃シテ椿樹店附近ニ進出シ東固始突入ヲ準備セントス

三 第五中隊ハ其ノ一小隊ヲ輕装ヒシメテ極メテ不意ニ前方無名部ニ突入シ同地ヲ奪取スヘシ

爾後大隊豫備隊トシテ左翼後ヲ前進スヘシ

四 第七中隊ハ左第一線トス第五中隊、前方部ニ奪取ニ引キ續キ其ノ戰果ヲ擴張シツ、椿樹店ニ向ヒ攻撃前進スヘシ

五 第八中隊ハ右第一線トス徐甯西側高地、敵ヲ攻撃シ椿樹店東方地區ニ進出スヘシ

六 機関銃中隊ハ主力ヲ以テ右中隊、戦闘ニ協力シ一部ヲ以テ

左方ヨリスル側射火器ヲ制圧シツ、第一線部隊ニ跟隨スヘシ

セ第一線中隊、攻撃前進、時期ハ十四時トス

ハ予ハ左中隊、後方ヲ椿樹店ニ向ヒ前進ス

大隊長

高

井

少

佐

下連法隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘタル後命令受領者ニ達事記

ハ第五中隊川岸小隊、突入ハ十四時十分ヲ期シ極メテ不意ニ決

行セラレ同部落ニ在リシ若干ノ敵ヲ驅逐シ之ヲ奪取ス

之ニ次テ兩第一線中隊ハ其戰果ヲ擴張シツ、敗逃セル敵ニ膚

接シテ急追シ一舉ニ椿樹店ニ進出スルヲ得タリ

ハ十五時各隊ハ既ニ椿樹店附近ニ能ハ勢整ヒタルヲ以テ十五時

十五分大ナル抵抗ヲ受クルコトナク東固始ニ突入セリ

敵ハ大略西固始域内ニ遁避セルモノ、如ク十六時三十分頃概ネ

東固始ノ南部落、掃蕩ヲ了リシヲ以テ主力ヲ東固始中央部ニ集結シ

西固始攻撃ノ準備ヲナス

唯工兵部隊、到着ヲ待ツノミ
 十七時過獨工兵第三中隊（一小隊欠）大隊ニ配屬セラレ現地に到
 着ス

又第六中隊モ大隊長ノ手裡ニ復歸シ同時頃追及セリ
 東固始西端附近ハ敵ノタメ放火セラレ目下火災中ナリ

西固始攻撃ニ関シ十八時左記高作令第一〇二號ヲ下達ス

高作令第一〇二號

高井部隊命令

九月十八日十八時
 於東固始中央部

一西部固始城壁上ニハ點々ト敵ノ監視兵ヲ視ル其ノ城門ハ閉
 塞セラレアリ

其ノ他情況諸官ノ目視スル通り

ニ大隊一獨立工兵第三中隊（一小隊欠）ヲ配屬セラルハ概ネ十
 時ヲ期シ東門ヲ爆破シテ西固始ニ突入シ一舉ニ城内ヲ掃
 蕩セントス

三工兵中隊ハ概ネテ几時東門ヲ爆破シ得ル如ク諸準備ヲ
ナスヘシ尚ヒセテ突入ノタメ東門ニ至ル間、進路ヲ整理スヘシ
準備完了セバ報告スヘシ

四第八中隊ハ工兵中隊、爆破直後突入シ城内中央道路(舍
ム)以北地區ヲ掃蕩シツ、西門及其、北側附近ニ進出ス
ヘシ

五第六中隊ハ先ツ輕機関銃四ヲ現在地附近ノ屋上ニ出シテ
爆破並ニ第八中隊、突撃掩護射撃ニ任セシメ中隊主力ハ
第八中隊ニ次テ突入シ中央道路(舍ム)以南地區ヲ掃
蕩シツ、西門及其、南側地區ニ進出スヘシ

六第七、第五中隊及機關銃中隊ハ直ニ兵力ヲ集結シ上記
順序ニ從ヒ東門ニ向ヒ前進スヘシ

其ノ時期ハ兩掃蕩隊ノ成果ニヨリ後命ス

七爆破並ニ突入時期ハ後命ス 各隊ハ十八時五十分迄ニ行

動發起、姿勢ニ在ルヘシ

ハ予ハ暫ク現在地ニ在リ

突入ニ際シテハ第六中隊ニ次テ前進ス

大隊長

高

井

少

佐

下達法 要旨ヲ隊長ニ口達シタル後命令受領者ニ口達事記

12. 十九時工兵隊ハ勇躍東門爆破ヲ決行ス

機ヲ失ヒス第六中隊、一部ハ城内ニ突入セシモ破壊口不十分

ナルタメ更ニ再爆破ヲ行ヒ次テ主力部隊城内ニ殺到ス

敵ハ城壁上ヨリ手榴彈ヲ投擲シテ應戦シ又城内ニ約六

百ヲ算スル敵在リテ各所ヨリ狙撃ヲ以テ執拗ナル抵抗ヲナ

セシモ二十二時頃城内ノ掃蕩完了シ多大ノ戦果ヲ

收メタリ

13. 本六日ノ戦闘經過時圖第三ノ如シ

以大隊ハ本夜西面迄城内西北部ニ宿營ス

1201

15. 本六日、戦闘ニ於ケル死傷表第四號附表、如シ
16. 本六日、戦闘ニ於ケル鹵獲表第五號附表、如シ
17. 本六日、戦闘ニ於ケル武器彈藥損耗表第六號附表、如シ

87

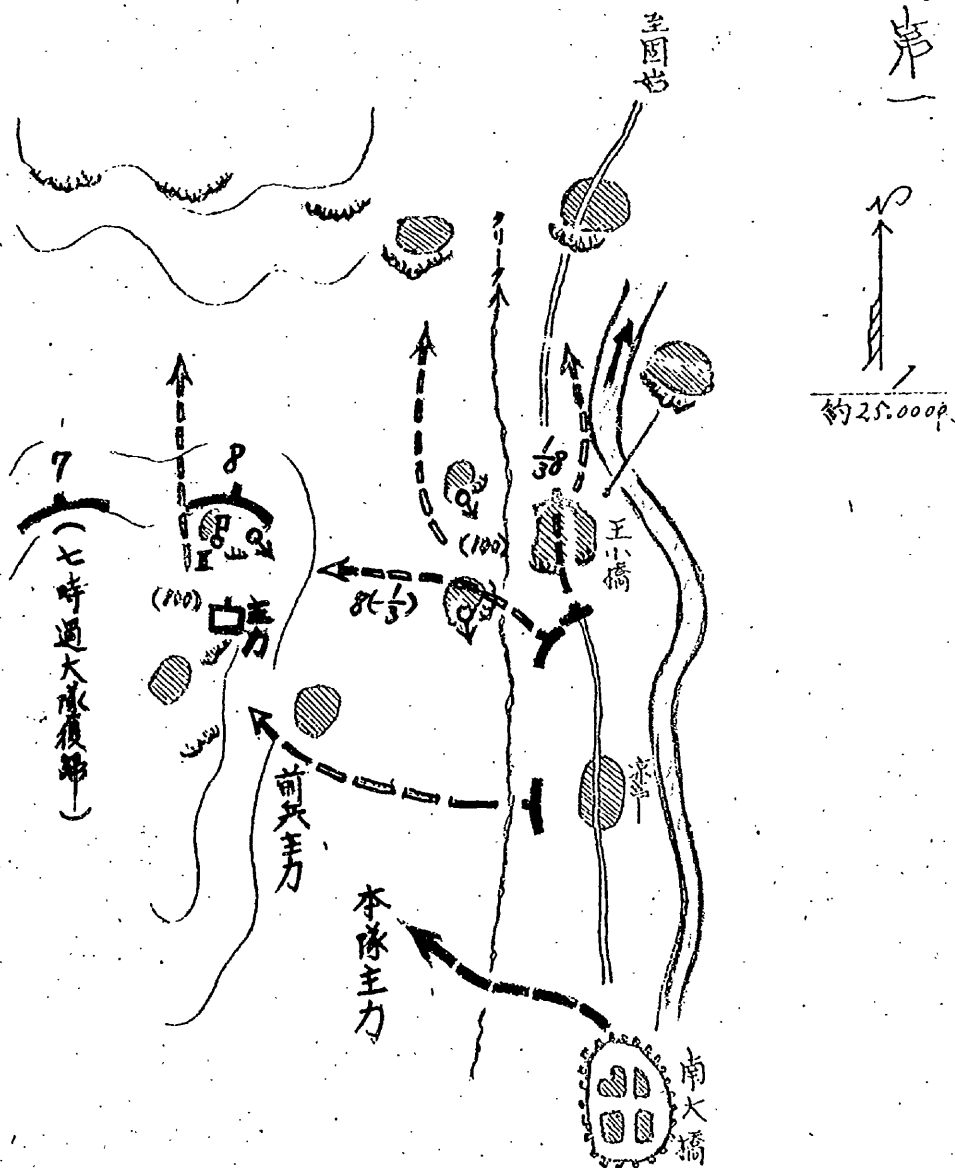
1832

3201

圖要闘戦兵前：區地方北橋大南

(11至二時七13分十三時五19)

附圖第一

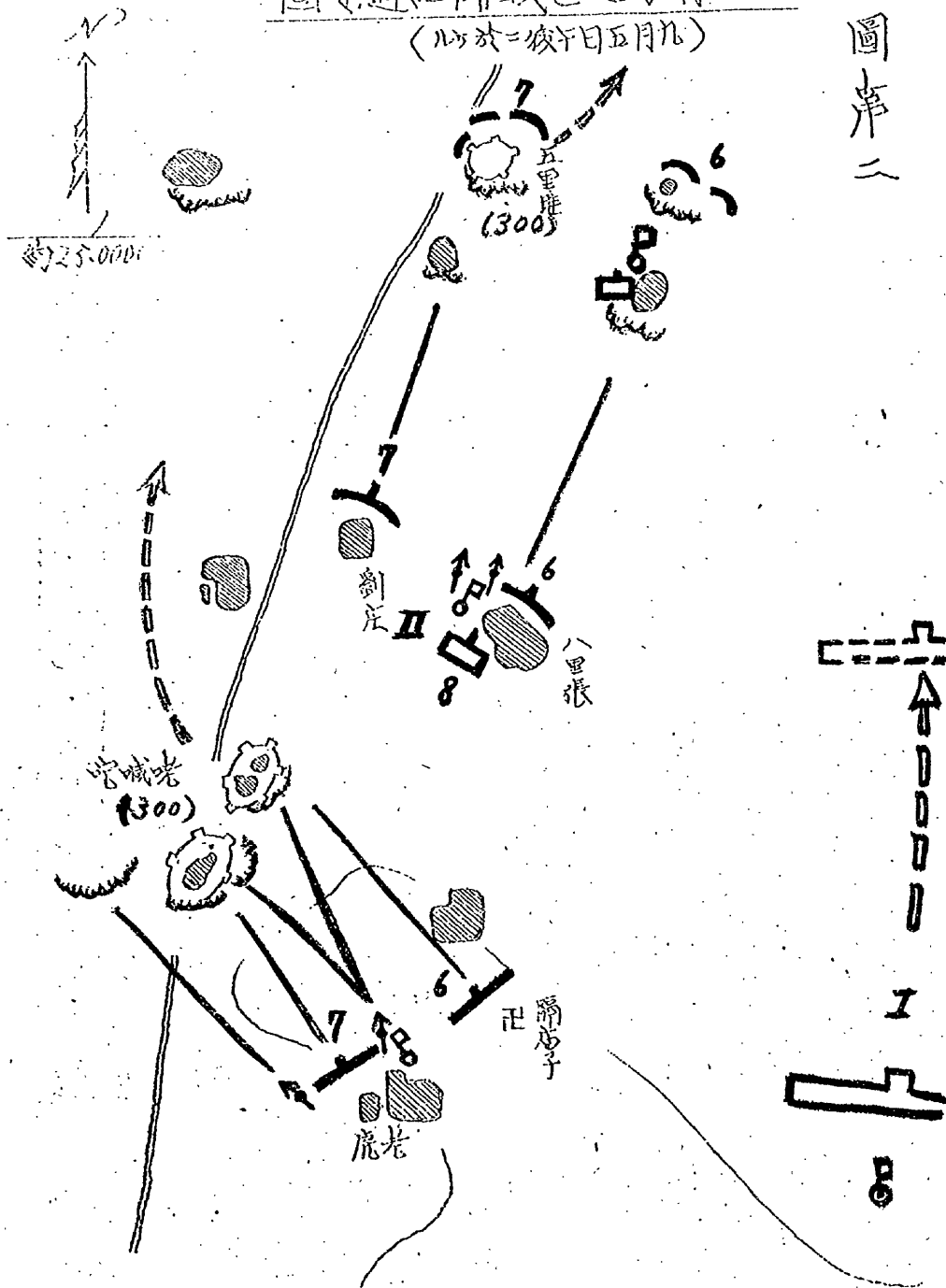


2501

固始南方地方戰區經過要圖

(九月五日午後放ル)

附圖第二



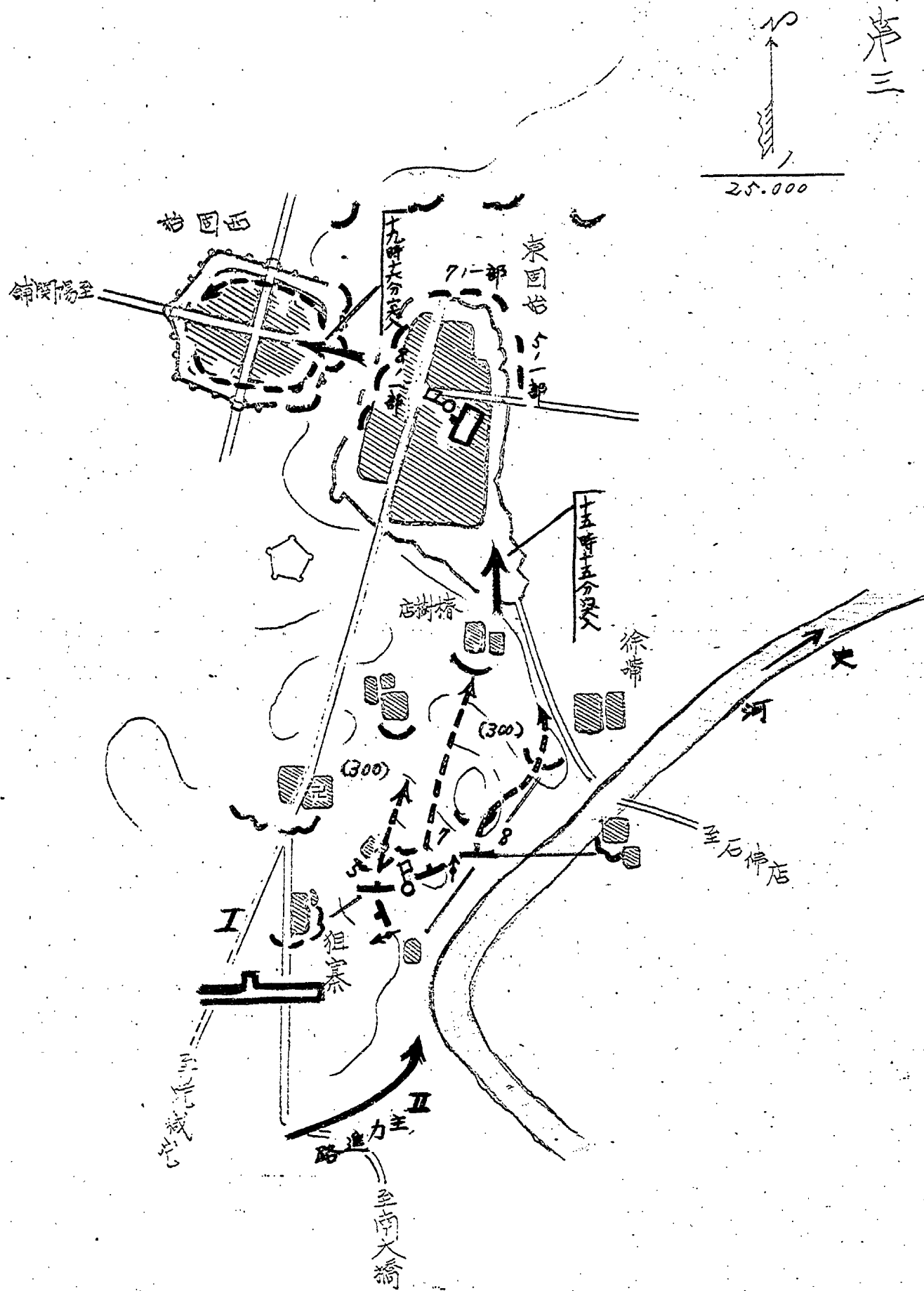
85

1834

圖要署部略攻始固隊大二第
(後午日六月九於)

附圖第三

1835



1024

96

1025

昭和十三年五月步兵第三十九聯隊第二大隊死傷表									
隊名	分隊	將校	隊員	馬	死	傷	不明	合計	備考
大隊本部			四	二	三			九	
第五中隊	✓	四	一	三				八	
第六中隊	✓	三	一	三				七	
第七中隊	✓	四	一	三				八	
第八中隊	✓	三	一	三				七	
機關銃隊			四	一	二			七	
小行李				三				三	
合計	一	八	一	八	六	三	一	二	
備考(一)内ハ聯隊重兵特務兵ヲ示ス									

附一

[illegible]

2801

隊 區 分		彈 藥 損 耗		火 災	
隊 號	區 分	彈 藥	損 耗	火 災	火 災
大隊本部		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
第五中隊		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
第六中隊		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
第七中隊		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
第八中隊		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
機關銃中隊		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
合 計		彈 藥	損 耗	火 災	火 災
備 考		彈 藥	損 耗	火 災	火 災

戰 闘 詳 報 第 三 號 附 表

昭和十三年 九月 五日 步兵第三十九聯隊 第三大隊 武器 彈藥 損耗表

昭和十三年九月十六日 步兵第三十九聯隊 第二大隊 死傷表									
隊別	隊分	死		傷		生死不明		備考	備考
		將校	兵	將校	兵	將校	兵		
大隊本部	四	(三)	二	三	二			二	二
第一中隊	四	一	三	一	三				
第二中隊	三	一	六		六				
第三中隊	四	二	三		五				
第四中隊	三	一	五		二				
機關銃隊	四	(一)	二	一	五				
小行李	(三)	三	二		(二)				
合計	一八	(三)	二六	九	二				
備考	二	一	六	六	三				

二戰傷將校 附山本大尉 八内海少尉 トス

備考	戦闘詳報第五號附表									
	昭和十三年六月三日 歩兵第三十九聯隊 第三大隊 鹵獲表									
員數	區分		種類		戦		利		遺棄屍体	
	將校	准士官	馬匹	輕重砲	同彈藥	輕重銃	小銃	同彈藥	手榴彈	
三										
二										
四										
五〇										
一										
二三										
五〇〇〇										
二〇〇										
二五										

0201

備 考		隊 號		大 隊 本 部		第 五 中 隊		第 六 中 隊		第 七 中 隊		第 八 中 隊		後 關 銃 中 隊		人 計		昭和十三年 九月六日		戰鬥詳報第六號附表
																		步 兵 第 三 十 九 聯 隊 第 二 大 隊 武 器 彈 藥 損 耗 表		
																		彈 藥 損 耗		失
																		其 他 武 器		

附三